

2022
7月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535 (HPはこちら)
Mail : fukuciku@gmail.com



〈参院選の争点 田村貴昭衆議院議員が語る〉

いのちと暮らしを犠牲にする軍事拡大阻止

7月10日は、参議院議員選挙の投票日です。現在、ウクライナ侵略から軍備増強の声が高まっています。しかし、軍備拡大は「力対力」「軍事対軍事」の際限のない悪循環しか生みません。福岡地区労連は、いのちと暮らしを守り、軍備増強阻止の声を上げるため田村貴昭衆議院議員（日本共産党）に話を伺いました。



衆院本会議で質問する田村議員

ロシアのウクライナ侵略に乗じて、自民、公明、維新、国民からは軍備増強の大合唱です。しかし、「力対力」「軍事対軍事」という立場は、際限のない軍拡の悪循環を招きます。実は、岸田首相は軍拡のリスクを認めているのです。「安全保障のジレンマ」を問われ、「自分の国が軍事力を強化する、そうすると相手は更に軍事力を強化する、結果として、自分の国の脅威が増すことになってしまう」（5/26衆院予算委）と答弁。軍備拡大を行えば、平和と安全を失うのです。

外交努力による紛争解決
ではどうすればいいのか。それはなんと言っても外交努力です。東南アジア諸国連合（ASEAN）の10カ国は、互いに武力の行使を禁止し、紛争の話し合いによる解決を定めた条約を定めています。域外に広げるために、東アジアサミットをASEANプラス日、米、中、露などの8カ国で毎年首脳会議を行っています。現にある平和の構築を東アジアに広げる。憲法9条を持つ日本なら、ここに力を尽くすべきです。

戦争の教訓を忘れない
軍事拡大は、暮らしをしばせます。倍増となったらどうなるか。雑誌『女性自身』（6月28日号）は、消費税率が12%以上になり、医療費の窓口自己負担3割が6割に、年金なら年間12万円減額になると試算結果を明らかにしています。

ならば借金だと、安倍前首相はGDP2%を「国債で対応していけばいい」と主張。暴論もいどころです。財務省の資料「第2次世界大戦に関する財政状況について」では、戦時中の臨時軍事費特会の公債発行額・借入金額の合計は1498億円に。「歯止めなき公債発行は、国民の資産を毀損した」と記述。忘れてはならないこの国の戦争の教訓です。

7月10日は投票日

軍事費を拡大するには、暮らしを犠牲にし、借金を重ねる以外には、その先にあるのは、戦争による破局と悲劇。その道を確認するか、やめさせるのか。これが問われる参議院選挙がいよいよ始まりました。地区労連のみならず、憲法改悪、軍事大拡大許さぬたたかいを、大いにひろげましょう。

〈消費税減税大学習会〉 際限なき消費税増税の道を断ち切ろう

福岡県建設労働組合 福岡東支部 書記長 山中 健



インボイス廃止に向け決意を語る まじま省三候補

6月5日、消費税廃止福岡県各界連が主催する「消費税減税大学習会」が行われました。メイン会場となるTKP博多駅前シティセンターには福商連、県労連、民医連、福建労、新婦人、年金者組合などから86名が参加。オンラインでつないだ北九州や筑後、大牟田といったサテライト会場にも118名が集まり、合計で204名が参加をしました。講師には中央各界連の運営委員を歴任され、消費税をなくす全国会の前事務局長でも

あった、木口力さんを招き、消費税の減税、廃止に向けた運動論を話していただきました。インボイス制度が導入されると、消費税率の競争に追い込まれ、消費税を廃止する運動に悪い影響を及ぼすことの懸念を説明されました。最後に、福岡県各界連の事務局長である有馬さんから、「インボイス制度により、際限ない消費税増税の仕組みが完成する。絶対に許されぬ。これまでに以上に多くの人に働きかけて、7月の参議院選挙で勝利し、消費税5%への減税と、インボイス制度の導入中止を勝ち取りましょう」と呼びかけられ、会場からは大きな拍手が起っていました。

- 今後のスケジュール
- 選挙に行こう宣伝 7月6日(水) 16:30
- 第62回評議員会 7月29日(金) 19:00~21:00
- 国民平和大行進 7月12日(火) 7月15日(金)
- 県労連会議室・オンライン併用

《コロナ感染療養の実態》

自宅療養でコロナ孤独死は防げるのか

今回、福岡地区労連内田大亮事務局長が新型コロナウイルスに感染しました。新型コロナへの感染から完治までの各所の対応や実態はまだまだ周知されていません。

コロナ闘病を体験した内田事務局長に惠藤副議長が実態を聞きま

ことを告げると、「ホテルは3〜6日間待たなければ入れません。医師はホテルに待機していただきますが診療はしません。」と言われ、自宅療養を選択し、食事とパルスオキシメーターを支援センターから届けていただきました。

5度以下)だったので外に出てよいと言われませんでした。微熱があるためPCR検査の必要性を尋ねたところ、「再度検査をして陽性になるようなことがあるのと、陽性になれば自宅待機も延長になりますのでPCR検査はお勧めしません。ご自身の判断で決めてください。」と言われました。

陰性が確認できなければ職場復帰しづらいことを告げると、「10日間経過していればウイルスが残っていても感染力は落ちていて、日常的な感染対策をしていればほぼ問題はありませぬ。PCR検査を再度受けて陽性の場合はまた10日間待機になりますよ。」と回答がありました。

咳と胸の痛み、微熱と頭痛が続くので10日ぶりに外来で受診したところレントゲンとCTで肺炎になっていた。主治医は、10日間の経過をみなければ肺炎が見つからないことが多いと話しました。結果としてステロイド剤を1日6錠、減らしながら服用するとのことでした。ステロイドは血糖値も上昇する強い薬なので服用に不安を感じました。主治医は、ステロ

問：コロナに感染して大変でしたね

大変でしたね

問：病院の対応はどうでしたか

発熱外来を受診しましたが、病院の中に入らず、所定の駐車場に待機しPCR検査を受けました。

問：判定が出た後の対応はどうでしたか

陽性の結果が電話で告げられ、治療に関しては、高齢者ではない事とパルスオキシメーターの数値が95であることから、特別な処方はなく、保健所からの指示を待つこととなりました。

問：保健所の対応はどうでしたか

10日間の自宅待機で、毎日電話で確認をすることになりました。一人暮らしである

問：療養期間が過ぎてからは

10日目が微熱(37.5度)が保たれています。この温室効果ガスが大きく増えてしまうと、地球表面の平均温度が上昇して地球温暖化の問題になるとのことです。温室効果ガスの原因は、石炭、石油、ガスなどの化石燃料から排出されるCO2の排出量です。

問：コロナ後遺症について

咳と胸の痛み、微熱と頭痛が続くので10日ぶりに外来で受診したところレントゲンとCTで肺炎になっていた。主治医は、10日間の経過をみなければ肺炎が見つからないことが多いと話しました。結果としてステロイド剤を1日6錠、減らしながら服用するとのことでした。ステロイドは血糖値も上昇する強い薬なので服用に不安を感じました。主治医は、ステロ

問：最後に一言

療養中に所属単組の一人暮らしをしている仲間がコロナ感染後突然死となりました。以前、テレビで、「オミクロン株は風邪と一緒にインフルエンザみたいなもの。」と放送されていましたが、風邪やインフルエンザとは違うことだけははっきりと言えます。リスクは誰にでもあり、かかるべきでない病気であることは間違いありません。みなさんお気を付けてください。



当日は、解熱剤しか処方されず、陰性が陽性の結果はその日の午後連絡が入る事となりました。

10日間の自宅待機で、毎日電話で確認をすることになりました。一人暮らしである

10日目が微熱(37.5度)が保たれています。この温室効果ガスが大きく増えてしまうと、地球表面の平均温度が上昇して地球温暖化の問題になるとのことです。温室効果ガスの原因は、石炭、石油、ガスなどの化石燃料から排出されるCO2の排出量です。

陰性が確認できなければ職場復帰しづらいことを告げると、「10日間経過していればウイルスが残っていても感染力は落ちていて、日常的な感染対策をしていればほぼ問題はありませぬ。PCR検査を再度受けて陽性の場合はまた10日間待機になりますよ。」と回答がありました。

咳と胸の痛み、微熱と頭痛が続くので10日ぶりに外来で受診したところレントゲンとCTで肺炎になっていた。主治医は、10日間の経過をみなければ肺炎が見つからないことが多いと話しました。結果としてステロイド剤を1日6錠、減らしながら服用するとのことでした。ステロイドは血糖値も上昇する強い薬なので服用に不安を感じました。主治医は、ステロ

問：最後に一言

療養中に所属単組の一人暮らしをしている仲間がコロナ感染後突然死となりました。以前、テレビで、「オミクロン株は風邪と一緒にインフルエンザみたいなもの。」と放送されていましたが、風邪やインフルエンザとは違うことだけははっきりと言えます。リスクは誰にでもあり、かかるべきでない病気であることは間違いありません。みなさんお気を付けてください。

〈労働組合と地球環境問題を考える⑥〉

年平均気温1℃上昇は大きな影響

5月28日福岡市で「地球温暖化問題について」と題して、国家公務員労働組合九州ブロック協議会が学習会を開催しました。講義は元気象庁気象研究所所長の高野清治氏にお話をいただきました。高野氏からは専門の気象研究者であるこ

とから、豊富な気象資料図が使われてわかりやすく説明していただきました。豊富な講義内容を今号だけではお伝えできないので次回に分けてお伝えします。

まず「気象と気候」について、「気象現象を長い時間で統計的に

処理したものが「気候」であるとし、地球温暖化で取り扱うのは「気候」で、「気象と気象での1.0の意味の違い」について、気候は気温の平均などの統計操作をするため、気象より変動が小さくなり、年平均気温が1.0C上昇することは大き

な影響があると図表を使って詳しく説明されました。

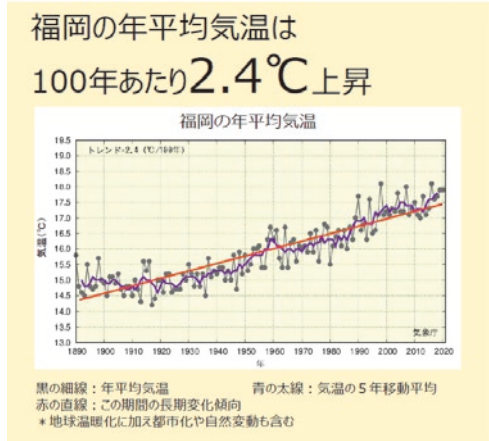
地球温暖化について「温室効果ガスによる温室効果のせい」だと話されました。理由は、温室効果がなければ地球表面の温度はマイナス19.0Cで、温室効果ガスのおかげで地球表面の平均温度は14

人がより関心を持ちやすいように、世界と日本の年平均気温変化を示した上で、福岡市の年平均気温のグラフ等を提示して説明されま

示した。福岡市の「猛暑日」と「熱帯夜」の発生頻度、「降水量の変化」と「短時間強雨の年間発生回数」、雨の降り方の変化を示しながら温暖化の影響の可能性があることを示唆しました。温暖化が進むと無降水日数や短時間強雨とともに増えると言います。

(編集委員 惠藤)

観測事実



リーフレット「福岡県の気候変動」福岡管区気象台より